



循環器科 連載
(全3回)

循環器科部長

西堀 祥晴

にしほり よしはる

(日本心血管インターベンション学会指導医)



第2回 『重症下肢虚血(CLI)への挑戦 ～ チーム医療とSPPを武器に ～』

今回は重症下肢虚血 (critical limb ischemia : CLI) に対するカテーテル治療についてお話します。CLIとは、下肢動脈の動脈硬化に起因する安静時疼痛、難治性皮膚潰瘍、壊疽のことをいい、最近、症例の増加に伴い、よく用いられる病名です。一方、軽症下肢虚血という病名はなく、「跛行患者」として「CLI」とは区別しています。また病名に関しては、最近では閉塞性動脈硬化症 (ASO) よりも末梢動脈疾患 (peripheral artery disease : PAD) と表現することが多くなってきました。これは本邦以外ではASOという病名は使用されていないことによります。さて、約5年前から日本でも急速に広まってきた下肢動脈領域のカテーテル治療。以前は切断を余儀なくされていた症例でも、最近ではこのカテーテル治療により救肢できる症例も出てきました。これは決して医療機器や技術の進歩だけで果されたのではなく、「チーム医療」がCLI治療成功のカギを握っています。それはどういうことかということ、CLI治療には、①患者さんやご家族による傷の早期に発見、②形成外科医や皮膚科医による傷の専門的なケア、③循環器科医のカテーテル治療による下肢の血行改善、④内科医による全身管理、⑤退院へ向けたリハビリ、これらの項目すべてが円滑に連携することが大切だからです。従来は、それぞれの科が各々の専門分野の中でCLI患者さんを診療することが多く、前述のような連携が取れず、早期に足の切断に至っていました。当院では形成外科医による「フットケア外来」も設けられ、各科が協力しあって、CLI患者さんの治療にあたっております。最後にCLI治療に関する医療機器の話ですが、当院でもこれまでよりABI (Ankle Brachial Pressure Index) の計測、エコーによる血流評価、CTやMRIによる画像診断をCLI診療の主軸に用いてきましたが、創傷治癒の評価 (治癒する傷か否かの判断) には不十分でした。最近、創傷治癒の評価には「皮膚組織灌流圧 (Skin Perfusion Pressure : SPP)」の測定が有用とされています。今回、当院でも「SPP測定装置」を新たに導入することになりました (まだ県内でも数台)。今後もチーム医療とSPPを武器にCLI治療に挑戦してゆきたいと考えております。もしも、CLI患者さんを診られたら、どうぞSPPを！



神経内科外来 開院のお知らせ

平成23年1月より内科5診にて神経内科の診療を行います。

担当医師：津田 健吉 (つだ けんきち)

診療日：毎週金曜日 午前 (1月7日 (金) より診療致します。)

日本手外科学会研修施設の認定を受けました。

川崎病院は10月14日に一般社団法人日本手外科学会の研修施設認定を受けました。

当院では今後も認定専門医である戸祭整形外科部長を中心に生活習慣や災害、スポーツ活動によって発生する上肢全般（特に手）に関する疾患と障害の発生予防・診療に関して、社会が求める医療を提供し、地域住民の運動器の健全な発育と健康維持および開業医の先生方の日常診療に貢献して参ります。



血液専門外来のご案内

血液専門外来では血液疾患、特に白血病・骨髓異形成症候群・悪性リンパ腫・骨髄腫および各種固形がんの診療を行っております。また、近年急速に進歩している多くの悪性腫瘍の化学療法を専門医（飯田内科部長※）が高い知識と技術で計画・施行いたします。

当院には医師・看護師・薬剤師からなる悪性腫瘍化学療法チームがあり、安全な化学療法に取り組んでいます。ご予約は地域医療連携室まで電話またはFAXにてお申し込み下さい。（電話 078-511-3131 / FAX 078-511-3297）

飯田 正人

学会認定

日本内科学会認定医・専門医・指導医
日本血液学会専門医・指導医
日本がん治療暫定教育医

専門特殊外来担当医表

診療科		月	火	水	木	金	土(第2・4は休診)	
内科	午前	【糖尿病外来】 市原 紀久雄	【糖尿病外来】 大塚 章人	【脳神経外来】 篠山 隆司	【糖尿病外来】 大塚 章人	【腫瘍外来】 向原 徹
	午後	【呼吸器外来】 石川 結美子	【腎外来】 粕本 博臣		【呼吸器外来】 富田 菜々子	【禁煙外来】 中村 (1・3・5) / 久保 (2・4)		【血液外来】 飯田 正人
循環器科	午後	【ペースメーカー外来】 (第1、第3水曜のみ)
外科	午後	【乳腺外来】 要予約 13:30~ 14:30	【肛門外来】 14:00~	【乳腺外来】 要予約 13:30~ 14:30	【ストマ外来】 14:00~
整形外科	午前	【スポーツ外来】 戸祭 正喜
耳鼻咽喉科	午後	【補聴器外来】 要外来受診 第1,第3,第5

専門特殊外来は予約が必要です。 ※神経内科外来は1月7日(金)より診療致します。

その他、各診療科にて力を注いでいる疾患・治療

標榜科	疾患名 治療法など	医師名および診療曜日	標榜科	疾患名 治療法など	医師名および診療曜日
内科	糖尿病	市原 紀久雄 (金曜 午前) 大塚 章人 (月曜 午前)	消化器科	悪性疾患(膵臓癌、胆管癌等)により 黄疸が出た時のステント減黄術	全医師が対応致します
	消化器一般	多田 秀敏 (火曜 午前/金曜 午前)		消化器癌の早期発見と内視鏡治療	
	肥満、高脂血症、 内分泌	中村 正 (月曜 午前/水曜 午前)	循環器科	閉塞性動脈硬化症	全医師が対応致します
	血液	飯田 正人 (月・水・木/午前)	狭心症		
耳鼻咽喉科	腎	粕本 博臣 (水曜 午前) 成山 真一 (月曜 午前)	整形外科	小児全般	戸祭 正喜 (月曜 午前/金曜 午前)
	睡眠時無呼吸症候群	下屋 聡子 (月、水、木、金、土 午前) 土曜日は第3・5のみ	形成外科	手全般	
	中耳炎		スポーツ障害全般		
	アレルギー性鼻炎		顔面外傷・顔面骨折	岩谷 博篤 (月・火・木・金・土 午前/水曜 午後) 土曜日は第3・5のみ	
	副鼻腔炎		四肢外傷		
	扁桃炎		感染症		全医師が対応致します
	声帯ポリープ		腫瘍(悪性、良性)		
突発性難聴	顎骨骨折				
顔面神経麻痺	インプラントおよび インプラントのための骨再生				
眼科	涙道手術	松場 真弓 (火・水・金 午前)			

注) 学会など諸事情により代診、休診になる場合もあります。あらかじめご了承ください。

ご予約は地域医療連携室まで電話
またはFAXにてお申し込み下さい。

● 地域医療連携室 電話 078-511-3133 / FAX 078-511-3297